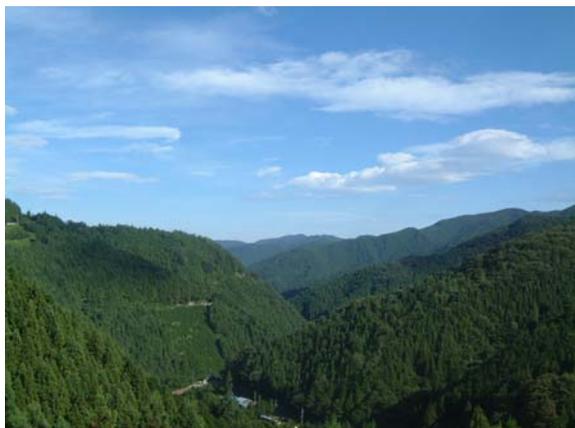
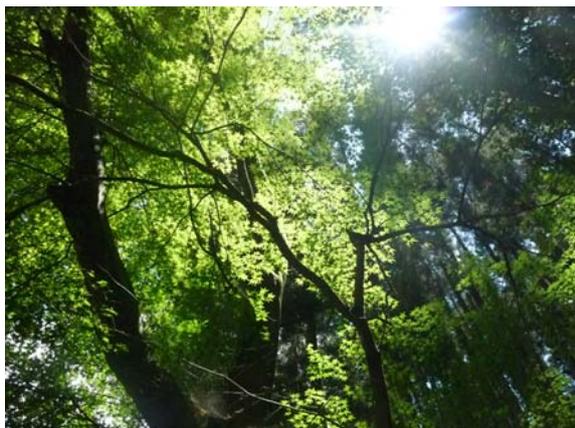


中央区の森環境ふれあい村構想

概要版



平成 23 年 3 月



1 構想の目的

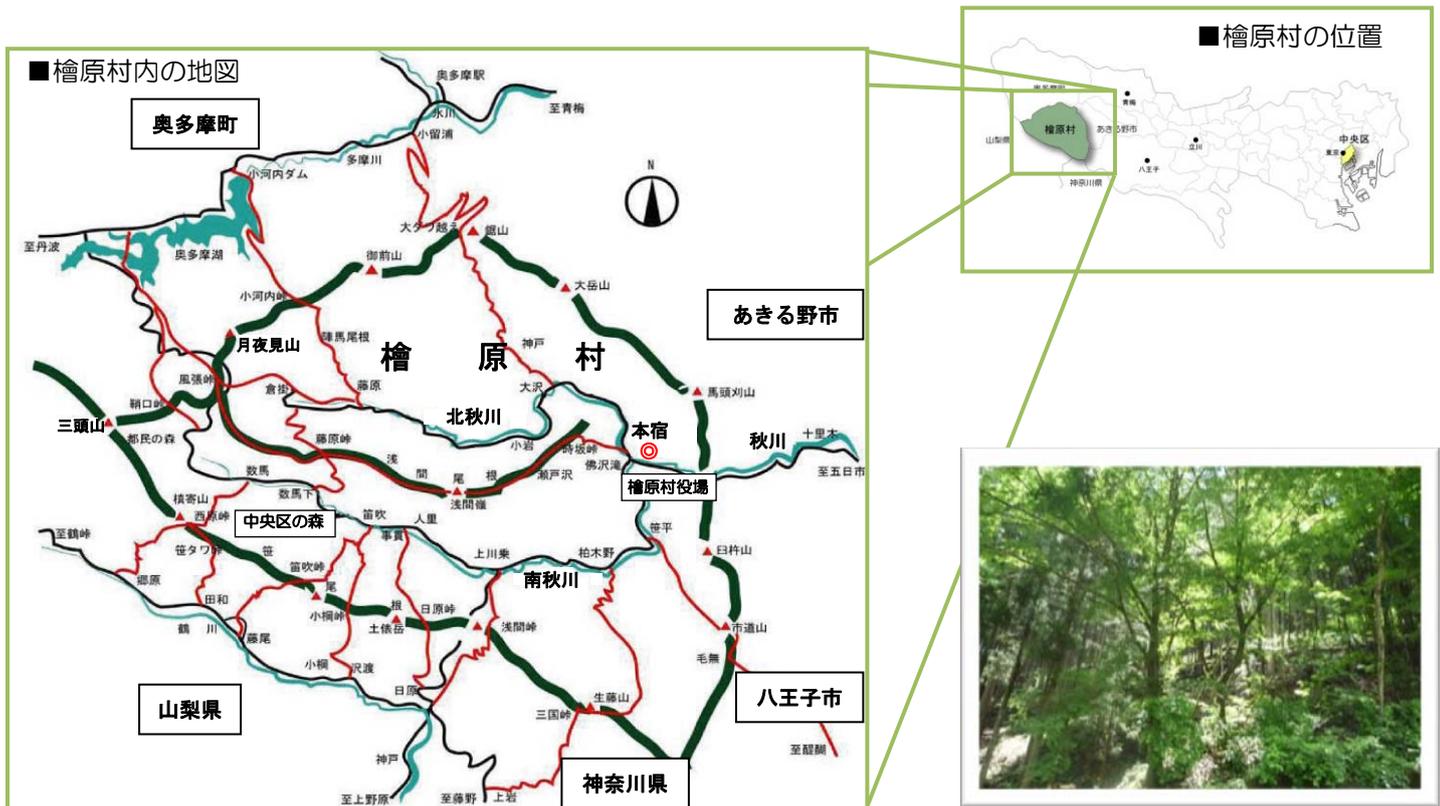
中央区は、平成18年10月から区の区域を越えた広域的な地球温暖化対策として「中央区の森」事業を進めて参りました。区では、「中央区の森」のある檜原村との交流を深め、区民や区内事業者の方々が森林保全を通じて、豊かな自然に触れる機会をさらに拡大するため、「中央区の森環境ふれあい村構想」を策定することとしました。

本構想は、CO₂の吸収源となる森林を荒廃から守り・育てるため、地元NPOが実施する森林保全活動の支援や「中央区の森」から産出される間伐材など地域の木材資源の活用、檜原村の歴史・自然などを理解しながら、地域との交流を促進することにより、地球温暖化対策や環境学習の場としてのさらなる充実を図ることを目的として策定します。

2 構想の位置づけ

中央区は、地球規模の環境問題への対応策として、平成20年3月に「中央区環境行動計画」を策定し、その中で「中央区の森」事業を、同計画の重点プロジェクトの1つとして位置づけています。

本構想は、このプロジェクトをさらに推進していくために策定するもので、中長期的視点に立ったさまざまな取り組みを提案していくものです。



3 構想の概要

<構想のテーマ>

中央区の森環境ふれあい村

～森づくりへの参加と地域との交流～

<推進方策>

<森林保全の支援方策>

- ①整備支援の拡大
- ②区内事業者の環境学習、森林体験の場として活用
- ③拠点施設の確保、整備
- ④檜原村の森林施策への協力
- ⑤中央区の森のデザイン化

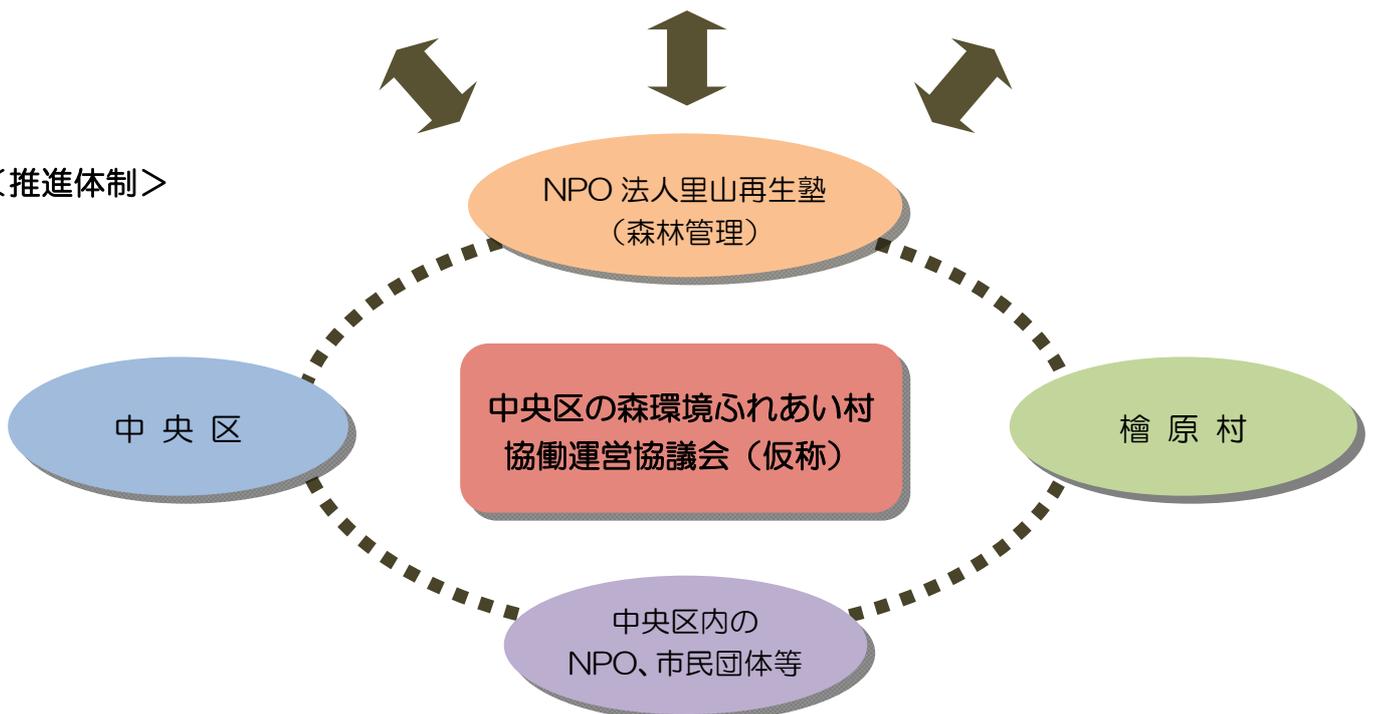
<木材資源の利活用方策>

- ①間伐材の有効利用
- ②檜原産材を含む多摩産材の利用促進
- ③公共土木材等への活用
- ④端材等の有効活用
- ⑤チップ材の花壇や植栽地への活用

<地域の自然・文化などの体験と交流促進のための方策>

- ①地域資源を取り込んだ新たなプログラムの充実
- ②小学校での学習
- ③区民にむけた檜原村の地域資源の活用

<推進体制>



※詳細はP9「5 推進体制」を参照してください。

< 森林保全の支援方策 >



森林の整備支援を拡大します



「中央区の森」のスギ林

支援区域の拡大

- 現在の「中央区の森」の整備と並行して、都道沿いの整備が必要な森林について、協定地域を拡張していきます。

森林整備ボランティア及びボランティアリーダーの育成

- 区民の森林整備ボランティア活動促進のため、ボランティアリーダーを育成する仕組みや計画的に森林保全活動に参加することができる仕組みを作っていきます。



区内事業者の環境活動や森林体験の場としての活用を図っていきます



事業者による間伐材搬出の風景

区内事業者による「中央区の森」の活用

- 区は、「中央区の森」を活用した森林体験や森林保全活動などの社会貢献活動を行う区内事業者への支援を引き続き拡充していきます。
- 事業者を対象とした活動プログラムの企画、アクセスや滞在施設などの情報提供を行っていきます。



「中央区の森」の広葉樹林



拠点施設の確保・整備を進めます

活動拠点施設の整備

- 「中央区の森」周辺に、作業ガイダンス、着替え、休憩、短時間の学習のできる活動拠点施設を設置します。
- 施設は、区民や区内事業者のボランティア活動や体験ツアーなどで利用できるように計画します。
- 施設の整備にあたっては、設計の段階から区民の参加を図っていきます。
- 活動拠点施設の整備にあたり、積極的に「中央区の森」の産出材を含む多摩産材を使用します。



檜原村の森林施策に協力していきます

バイオマス分野などでの村の取り組みへの協力

- 区は、檜原村が策定した「バイオマスタウン構想」「ふるさとの森整備事業」などで協力・連携できる取り組みについて、檜原村との協議を進めていきます。



中央区の森のデザイン化を進めます

自然環境調査の実施

- 中央区の森及びその周辺の自然環境調査（植生調査、動物調査など）を進め、今後の区民等の活動の促進に役立てます。



散策路沿いに設置されている樹名板

中央区の森 map の作成

- 中央区の森の場所ごとの植生や年次整備計画、活用方法などのゾーニングを示した map を作成します。

＜木材資源の利活用方策＞



間伐材利用のベンチやフラワーポット
(日本橋みゆき通り)



多摩産材を活用した積み木



間伐材の有効利用を図ります

ストリートファニチャー等への活用

- 区内の公共施設で、間伐材を活用した製品を配置していきます。
- 商店街の歩道など休息が必要な空間では、木材を活用したサインや案内板などのファニチャー類を検証したうえで配置していきます。

学校、区内保育園等での活用の検討

- 区立小・中学校の「技術・家庭」において、ものづくり技術（木工）の試し材や保育園での積み木、遊具として「中央区の森」の間伐材の活用を検討します。

中央区環境情報施設での活用

- 中央区内に開設予定の環境情報施設の内装材、テーブル、椅子などで間伐材の活用を図っていきます。



檜原産材を含む多摩産材の利用促進を図ります

公共施設での多摩産材の活用

- 公共施設（学校、保育園、スポーツ施設等）の改築では、内装材などを中心に、多摩産材の活用を進めていきます。



「中央区の森」の木材を使用したベンチ



間伐材を活用したウッドブロック
(中央区)



「中央区の森」ノベルティ・グッズ

公園・児童遊園等での活用

- 公園や幼稚園・保育園などの屋外遊具における多摩産材の活用事例を参考に、導入について検討します。
- 公園・児童遊園のベンチは、今後の改修等にあわせ、「中央区の森」の間伐材を使用したベンチに更新していきます。



公共土木材等への活用を図ります

道路舗装材への活用

- 道路舗装材（ウッドブロック）については、製品性能や安全性・施工条件等を検証し、導入を図っていきます。

土木景観資材への活用

- 街路樹や公園緑化樹木の支柱などの資材に活用するほか、ガードレールや横断防止柵についても安全性等を検証し、導入を図ります。



端材を有効に活用します

区民、事業者等のニーズを踏まえた端材の活用

- 製材の過程で発生する端材は、広く区民、事業者、あるいは区内の施設等のニーズを踏まえて活用していきます。

マルチング材としての活用

- 間伐材をチップ化し、公共施設（区施設や公園など）内にある植栽地のマルチング材（雑草侵入を防ぐ被覆材）として活用を図ります。

<地域の自然・文化などの体験 と交流促進のための方策>



地域資源を取り込んだ新たなプログラムの 充実を図ります



「中央区の森」の前を流れる秋川の溪流

新たな活動プログラムの追加

- 「中央区の森」体験ツアーの内容に「森を楽しむ」「森とふれあう」などの要素を加えるため、自然観察、森の遊び（ツリーアドベンチャー）などのプログラムを充実します。
- 秋川などを利用した水遊び、休耕地などを利用した畑作業や自然環境に関する講座など、地域資源を幅広く楽しめる活動プログラムを作成していきます。

夏季体験合宿での利用

- 中学生を中心とした青少年の希望者を対象に、檜原村での自然、歴史文化を体験する夏季自然合宿での利用を進めます。



森の中の炭焼き窯

ツアー企画の協働化

- ツアーの企画を檜原村観光協会や区内 NPO、市民団体などと協働で進めていきます。



小学校での学習を進めます

「中央区の森」の学習

- 区立小学校 4 年生の東京都に関する学習（山村のくらしと水源地域の学習）の中で「中央区の森」に関する説明を行っていますが、今後はこうした取り組みを広げていきます。



区内イベントでの丸太切り体験



集落ごとに伝わる獅子舞



柏木野の神代神楽



小沢の式三番



森林セラピーロード（大滝の路）



日本滝 100 選 “払沢の滝”



区民にむけた檜原村の地域資源の活用を図ります

文化体験ツアーの企画

- 地域の自然や歴史、伝統・文化、人々との交流を進める「檜原村総合体験ツアー」などを、檜原村観光協会、区内のNPOなどと協働での開催に取り組んでいきます。

「中央区の森」体験ツアーへの文化交流プログラムの追加

- 中央区の森体験ツアーに文化交流プログラムを新たに加えていきます。（日帰りコース、1泊2日コースなど）

その他の地域資源の活用

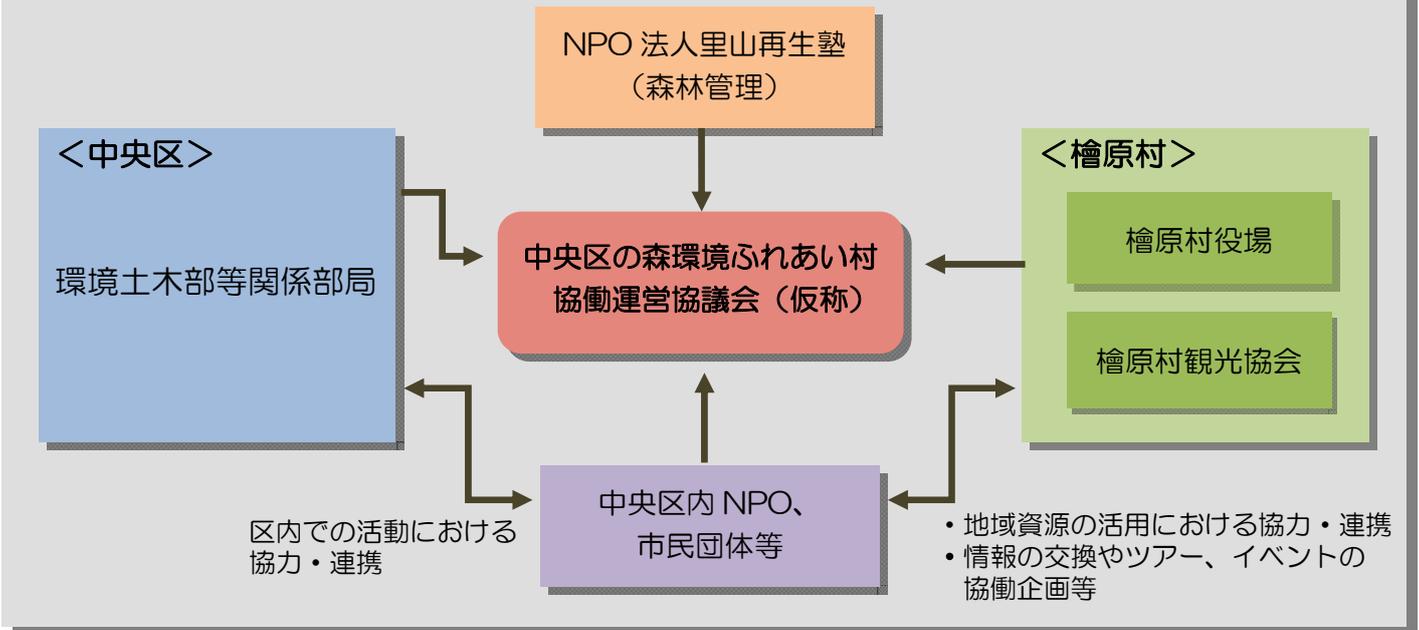
- 檜原村は、村ならではの食文化・木材加工などを体験できるプログラムや都民の方々の癒しとなる資源が数多くあり、これらの資源を活用し、区民との交流に活かしていきます。
- 森林保全活動に参加した区民等に対する檜原村観光協会直営店での買物割引などの仕組みづくりを観光協会と協議していきます。

5 推進体制

「中央区の森環境ふれあい村構想」を推進していくためには、中央区及び檜原村の関係部署、関連機関、NPO、市民団体などの連携が必要です。

構想を推進する母体となる「中央区の森環境ふれあい村協働運営協議会」（仮称）を設立していきます。

■「中央区の森環境ふれあい村構想」の推進体制



●協働運営協議会の役割

- ・構想の推進方策について協議し、情報を共有します。
- ・区内NPO、市民団体は、檜原村観光協会等との情報交換を通じて、区民を対象とした「中央区の森」体験ツアー、文化体験ツアー、イベントの企画などを協働で進めていきます。



檜原村観光協会



NPO 法人里山再生塾による
森林保全活動

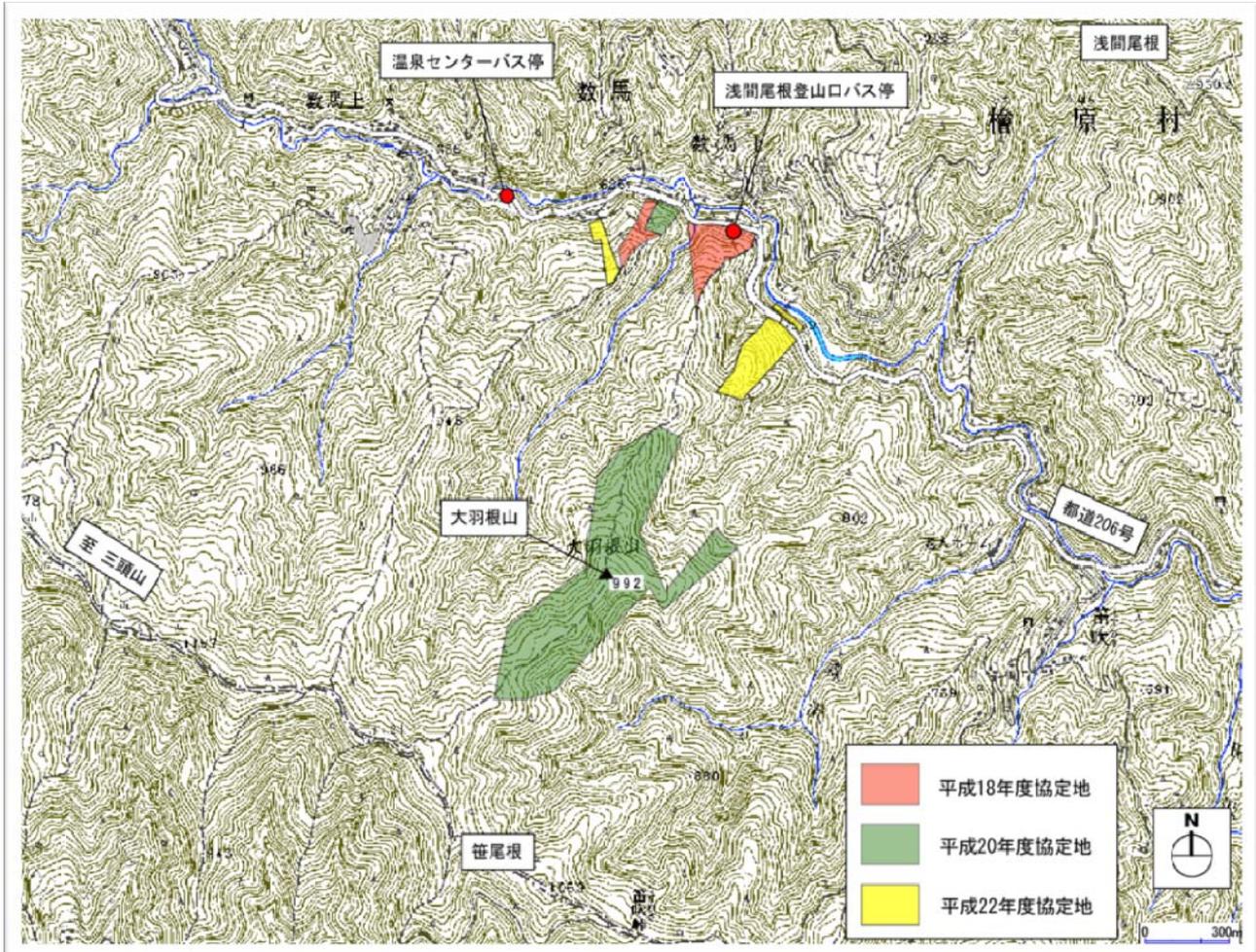
6 「中央区の森」の位置

位置：東京都西多摩郡檜原村数馬地区

協定面積：37.4ha（平成23年3月現在）

交通：JR五日市線「武蔵五日市駅」より西東京バス「数馬行き」
「浅間尾根登山口バス停」下車

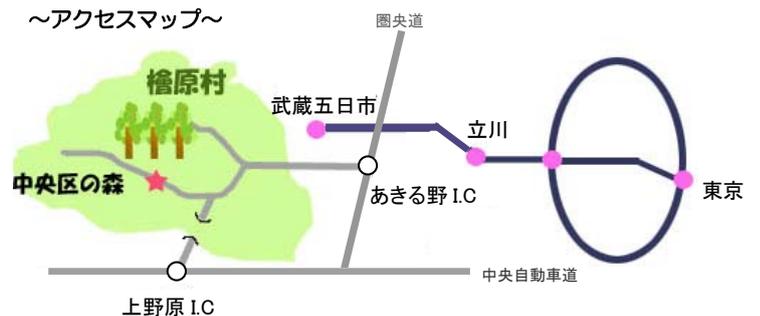
所要時間：東京駅から約2時間30分



- 写真 上 中央区の森の位置
- 左 数馬ハイキングマップ
- 下 アクセスマップ



～アクセスマップ～



※図に示す区域は実際の区域とは必ずしも一致しません。

中央区の森環境ふれあい村構想 概要版

発行年月日 平成 23 年 3 月

刊行物番号

22-114

編集・発行 中央区環境部環境保全課

住 所 東京都中央区築地一丁目 1 番 1 号

電話番号 03 (3546) 5654

印刷会社 株式会社 成光社